

～下田のデキゴト～



**6/1～30 あじさい祭開催**

第50回あじさい祭は感染症対策のため、イベント内容を縮小しての開催となりました。会場では、訪れた人たちが咲き誇るあじさいを觀賞したり、写真を撮影したりしました。また、初となるドローン撮影会も実施されました。



**6/1 地域の安全のために**

下田市消防団第2分団と本部分団が外浦海岸で水防訓練を行いました。水害の時期に備え、海岸の砂を利用し土のうを作りました。団員の手際良い作業により、300個の土のうがあったという間に作り上げられました。



**6/12 大人も子どもも白熱しました!**

下田小学校で下田わくわくパーク「これば!」が開催され、パラリンピック正式種目のポッチャを体験しました。下田市スポーツ推進委員の指導もあり、みんなで楽しむことができ、最後には参加者全員がそれぞれチームを作り、白熱したゲームを繰り広げました。



**6/1～30 下田のまちを華やかに**

ポケットパークの大工町プレイスにて、屋外空間利用実証実験を行いました。市内の販売店に協力をいただき、6月の毎週土曜日に市民や来訪者に向けて、ブーケや生花の販売を行いました。梅雨時期にも関わらず晴天に恵まれ、多くの皆さまにお越しいただきました。



**6/4 シトラスリボン運動**

下田市ボランティア連絡協議会より、コロナ禍で生まれた差別・偏見をなくすための運動「シトラスリボン運動」の普及啓発の一環として、市職員分のシトラスリボンが提供されました。



**6/12.27 届け!この思い!**

「Hug Heart」～下田を元気に!応援ステージ～が開催されました。中止となった黒船祭に参加予定だった団体が出演し、6月12日にまどが浜海遊公園、27日は文化会館大ホールで練習の成果を披露しました。

**6月の  
できごと**

- 5日 下田をきれいにする日
- 5日 浜崎・白浜・大賀茂小学校 運動会
- 6日 土砂災害・全国防災訓練

- 17日 Jアラート訓練 (緊急地震)
- 20日 第20回静岡県知事選挙 投票日
- 25日 東京2020オリンピック聖火リレー

**地域子育て支援センター通信**

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



**8月の予定**

- 6日(金) ふれあい遊び 11時～  
※午後閉館(清掃・消毒)
  - 16日(月) 閉館
  - 17日(火) 閉館
  - 20日(金) 8月生まれの誕生会
  - 23日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時  
保健師・栄養士来所
  - 26日(木) 食育講座
  - 27日(金) ふれあい遊び  
プール遊び終了  
※午後閉館(清掃・消毒)
- ※予定は変更になる場合があります。詳細は、地域子育て支援センターまでお問い合わせください。

あちらこちらからセミの鳴き声が聞こえ、暑い季節がやってきました。熱中症予防のために室内でもこまめに水分補給を心がけ、戸外では帽子などで直射日光から身を守るようにしましょう。

支援センターでは、水遊びをしたり自然の風を感じたりしながら夏を楽しんでいきたいと思えます。休息、睡眠、そして夏バテしない食事に心がけ、元気に過ごしたいですね。どうぞ、支援センターに遊びに来てくださいね。

**水遊びのお知らせ**

期間 7月13日(火)～8月27日(金) 事前予約制 (前日までに)

※天候や行事等により実施しない日もあります。詳細は、子育て支援センターにお問い合わせください。



誕生会



フロアの様子



ふれあい遊び



体育館で遊ぼう

**こんにちは、市長です**

**安全と安心**



「ワクチン接種して良かった。これで孫と会えるわ。」  
先日テレビからこんな声が聞こえてきました。  
そこでワクチン接種の目的について今一度考えてみましょう。  
まず最初にあげられるのが、体内に免疫をつくって、もし感染したとしても軽微化させ、個人の安全性を高めることです。もうひとつは、体力的に弱い高齢の人たちを優先することで、重症化を抑え、病院がコロナ患者で一杯にならないようにする。いわゆる医療崩壊を防ぐということです。  
こうして個人と集団の二段階で社会をより安全にすることを目指しているのが今のワクチン接種であり、その結果として多くの市民の安心を向上することが期待されます。  
しかし、ここでひとつ注意すべきことがあります。それはまだ若年層の接種が進んでいないため、社会的に安全と呼べるレベルになるにはもう少し時間がかかる。このことを自覚しながら生活しましょうという事です。  
自分がワクチン接種したからもう大丈夫、ということではなく、まだしばらくは感染防止に向け、他者に配慮し、工夫しながら生活することが求められます。たとえば、東京などリスクのある所の人との接触はできる限り抑制する、といったことです。やむを得ず接触するようなことがあったら、2週間程度は周りの人と距離をとって生活してください。そうして下田モデルカードでその後2週間の健康状態のチェックができれば、また元の生活に戻る。このような工夫を下田市では、新しい下田モデルの取組みとして推奨しています。  
今年ももうじき海水浴シーズンを迎えます。自分自身はもちろん、観光客とともに下田モデルを活用しながら、安全安心の暮らしと観光の両立を目指していきましょう。